

SPA962 での片通話の問題

目次

[概要](#)

[片通話の問題を解決するにはどうすればよいですか。](#)

[NAT サポート設定の有効化](#)

概要

この記事は、Cisco Small Business 製品 (以前の Linksys Business シリーズ) のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援するドキュメントの 1 つです。

Q. 片通話の問題を解決するにはどうすればよいですか。

A.

片通話は通常、ネットワークの NAT ファイアウォールが原因で発生します。ルータで、ポートフォワーディングを実行して、UDP ポート 5060、5061、さらにポート範囲 16384 ~ 16482 をブロック解除する必要があります。ルータに「SPI ファイアウォール」機能がある場合、この機能を無効にすることが必要な場合もあります。

ポートフォワーディングで問題が解決しない場合は、SPA962 で以下に示す追加のトラブルシューティング手順を実行できます。

NAT サポート設定の有効化

SPA の [EXT1] タブで、[NAT Mapping Enable] および [NAT Keep Alive Enable] を [Yes] に設定し、をクリックします。

SPA9XX を登録した SIP サーバが NAT をサポートしているなら、SPA のアウトバウンドプロキシ設定を使用してこのサーバに接続できます。

SPA 製品は、STUN (Simple Traversal of UDP through NAT (ネットワーク アドレス変換)) プロトコルもサポートします。[SIP] タブで、[NAT Support Parameters] を探します。[STUN

Server] フィールドに STUN のサーバ アドレスを入力し、[Substitute VIA Addr] および [STUN Enable] を [Yes] に設定します。WAN IP アドレスを EXT IP に入力し、 をクリックします。

注: 対称の NAT がある場合は STUN は動作しません。syslog からデバッグが有効になっていて、[STUN Test Enable] が [Yes] に設定されている場合、SPA 製品は対称型 NAT が設定されているかどうかに関する情報を出力します。